

飛躍

HIYAKU

第275号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2009年3月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

卒業おめでとう!!

第3学年 各賞受賞者決まる 卒業生総代に田牧陽一君

卒業生総代

1組 田牧 陽一
葛飾区立奥戸中学校出身



東海大学総長賞

9組 望月 美穂
品川区立大崎中学校出身



東海大学生徒会功労賞

6組 松原 桃子
川崎市立大師中学校出身



優等賞

11組 齋藤 克也
川崎市立今井中学校出身



3カ年皆勤賞(代表)

11組 小野関 裕
バンコク日本人学校出身



卒業生に送る言葉

卒業に寄せて—人生とは？

かつて、イギリスにサマセット・モームなる小説家があった。彼の代表作に『人間の絆』という自叙伝的小説があるのだが、私にとって、それはイギリス文学の中で最もお気に入りの小説である。

ここで『人間の絆』という作品論を詳述するのはいささか気が重くなるばかりなので先を急ぐことにするが、この小説の中で、主人公フィリップ・ケアリが人生に迷い、パリで出会った中年の詩人クロンショーに人生の意味をたずねるところがある。すると、クロンショーは、「博物館へ行って、ペルシアじゅうたんの複雑な模様を見ておくと、そのうちに自然と答えが出てくるだろう」という謎のアドバイスを授ける。

その後、博物館に足繁く通うフィリップ・ケアリは、ある時、悟りを開く—ペルシアじゅうたんというのは、縦糸と横糸が寸分の狂いもなく織り込まれた完璧な図柄であると。そこから、フィリップ・ケアリは、人間は生まれ、働き、結婚し、子どもを持ち、そして死んでいくという単純な人生模様も、実はまた完璧な図柄だという認識に至る。つまり、人生というのは平凡こそもっとも非凡なのであると考えるようになる。

若い生徒諸君は人生に対して理想や夢や希望が多いだけに、考えを異にするかもしれないが、これから10年、20年、30年と年輪を重ねるうちに、人生とは何であるかといろいろな考え方をするようになるであろう。それほどまでに人生というのは深みがあるのである。



高橋 昇

高校第3学年主任
英語科

2008年度 第3学年各賞受賞生徒

表紙に掲載しました卒業生総代、東海大学総長賞、東海大学生徒会功労賞、優秀賞、3ヵ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前日の「3年生を送る会」で、以下の17名の普段の努力に対して表彰します。おめでとう。

<p>東海大学奨学生</p>  <p>9組 望月美穂 品川区立大崎中学校出身</p>	<p>東海大学特別奨励推薦(代表)</p>  <p>3組 中石清志 大田区立馬込中学校出身</p>	<p>3ヵ年精勤賞(代表)</p>  <p>6組 藤沢奈津美 清明学園中学校出身</p>	<p>1ヵ年皆勤賞(代表)</p>  <p>10組 鈴木亜嵐 練馬区立光が丘第四中学校出身</p>	<p>1ヵ年精勤賞(代表)</p>  <p>11組 伊藤恵里香 大田区立大森東中学校出身</p>
<p>東京都知事賞</p>  <p>9組 松尾藍利 川崎市立中原中学校出身</p>	<p>日本私立中学高等学校連合会賞</p>  <p>5組 花本 航 練馬区立開進第一中学校出身</p>	<p>東京都私学財団奨励賞</p>  <p>2組 末續彩夏 板橋区立西台中学校出身</p>	<p>東京都体育協会優良生徒</p>  <p>7組 亀井千尋 杉並区立荻窪中学校出身</p>  <p>8組 田垣瑛士 大田区立馬込中学校出身</p>	
<p>東京都高等学校文化活動優良賞</p>  <p>1組 遠藤雅菜 川崎市立川中島中学校出身</p>  <p>3組 江口瑞穂 江戸川区立瑞江第二中学校出身</p>		<p>東京都高等学校野球連盟賞</p>  <p>6組 高橋政貴 上尾市立南中学校出身</p>		
<p>東京都高等学校体育連盟柔道賞</p>  <p>3組 元吉友美 川崎市立西中原中学校出身</p>  <p>4組 柿沼秀徳 横浜市立本宿中学校出身</p>		<p>特別賞</p>  <p>11組 和田うらら 中野区立中央中学校出身</p>  <p>1組 高橋雄輝 横浜市立芹が谷中学校出身</p>		

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照下さい。

卒業する皆さんへ

卒業生の皆さん



大沼 雄貴

高校生徒会長 2年4組
足立区立東綾瀬中学校出身

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年間大変お世話になりました。私にとって卒業生の皆さんはいつも立派な姿を見せてくれる方が多く常に私の目標でした。また間違った時にはしっかり指導していた

だいたり、困った時には助けていただいたりと頼りになる先輩方に支えてもらうことが多かったと思います。学校生活の様々な所で頼れる先輩としての姿を見せてくれた先輩方に追いつこうとするのは大変なことだろうと思いますが、私も後輩の目標となることのできる先輩になりたいと思います。

先輩方はこれから自分の夢、目標、将来に向かって進んでいかれることと思います。その中では高校では考えられないできごとがたくさんあると思います。もちろん楽しいことだけでなく苦しいこと悲しいこともあると思います。この高輪台での絆、思い出そして新しく得る仲間たちと共にその新しい世界で頑張ってください。

先輩方の一層のご活躍とご健康をお祈りしています。

明日に向かって



賀来 陽一

後援会会長

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

高輪台で3年間の思い出を詰め込んで、大きく成長された皆さんの姿は、本当に頼もしく思えます。季節は毎年のように春からめぐり来ますが

皆さんが仲間や先生と過ごした時間は変わらない季節の中で、しかし確実に変化して螺旋のように過ぎていきます。1日1日はまさに一期一会でありこれからの皆さんの人生の中でも心に残るものであったと思います。

高校を卒業してから、皆さんは大人として扱われ、あらゆる面で自己管理が必要とされます。自分の将来についてじっくりと考え方向を決めて勉強を含めて行動をすることを心がけてください。今日の世情を鑑みれば辛いこともあるかもしれませんが、どんなときも俯かず顔を上げ前を見て明日に向かって進んで希望を星につなげていかれることを祈念いたします。

幸運の第60回生へ



土方 啓司

高輪会会長

ご卒業おめでとうございます。

また、高輪台高等学校の同窓会である高輪会への入会も心から歓迎いたします。皆さんは高等学校第60回の卒業生となります。60と

いう数字は古来より縁起の良い数とされております。人生においても60歳になると還暦といって家族が皆でお祝いをする習慣があります。還暦とは暦が還るといって我が国での古くからの暦である十干と十二支とが基に戻る、言い換えれば60年前の第1回生と十干十二支が同じとなる「おめでたく幸運な年」と言えます。この幸運な年回りは皆さんが努力して掴み取ったものではありませんが、皆さんには何かの運が付いていると言っても良いかも知れません。これから大学生となり社会人となってゆく中で「高輪台高等学校第60回生」であるという誇りと付いた幸運を逃すことなく、皆さん本来の目的を自分自身の力で掴み取って大きな花を咲かせられるよう願ってお祝いの言葉といたします。

4年後の景気は?...



竹中 輝夫

部活動後援会会長

卒業する皆さん、おめでとうございます。さあ皆さんは、4月からの新生活をどう過ごすか思い描いていますか。今、世界は100年に一度の不況の波にさらされ、日本も例外ではありません。そして

今後、各企業の求人は絞られてくると報道されています。今回の不況は、多くの皆さんが就職を迎える4年後まで続くかもしれないとも…。そこでお願いです。まだ先のことと思わずに、自分は何になりたいのか、どの業界に進みたいのか、これからの2年間で方向を定めてください。最近の企業は、どこの学部を出たということより、何をやりたいのかがはっきりしている学生を求めています。こういう人は不況に関わらず、自分の望む業界に進むことができそうですね。そのためには、大学で何を身につければいいのか、どんなスキルをつければいいのか考えてください。最初の2年間、遊びの時間もとりながら、将来のための時間も作ってくださいね。4年後の自分のためにも…

2008年度第60回卒業記念品を寄贈していただきました

記念品

- ①部活動応援用具 一式
ユニフォーム、ボンボン、クラリネット
- ②総合グラウンド野外時計 2基
直径100cm、直径70cm
- ③高輝度プロジェクター 1台
- ④テント 2張

今年度も多くの卒業記念品を寄贈していただきました。「部活動応援用具一式」は、部活動等の応援で使用されるユニフォームや楽器類です。昨年の夏は、野球部があと一歩で甲子園というところでした。来年度も多くの部活動の活躍を期待したいと思います。「野外時計」は、総合グラウンドのサッカー・ラグビー場及び野球場にそれぞれ直径100cm、70cmの時計を設置させていただきます。グラウンドのどこにいても時間がわかり、効率的な練習ができます。「プロジェクター」は、現在学校にあるものに比べ3倍の明るさを持つプロジェクターで、授業や学年集会等において活用させていただきたいと思っています。「テント」は、体育祭や建学祭でかなり多くの利用があり、学校としても必需品です。大切に使用させていただきます。

これらの卒業生からの贈り物「卒業記念品」を、感謝しながら使わせていただきます。

卒業生の皆さん、保護者の皆さん本当にありがとうございました。



3年間を高輪台高校で過ごして 親子の声

息子の声 継続することの大切さ

3年9組 葛飾区立綾瀬中学校出身 大塚 洋平

卒業を目の前にして、この3年間の様々なことが思い出されます。入学当初は、大勢の生徒に圧倒され、これからどうなるのかと不安でしたが、次第に慣れて毎日学校に行くことが楽しくなりました。また小学生から野球を続けてきたので高校でも野球部に入部しました。始めの頃は練習についていくのが精一杯でしたが、どんなことがあっても絶対に辞めないと強く決心し頑張りました。そして最後の夏には、チームは都大会で準優勝することができました。色々なことがありましたが仲間がいたからこそ辞めずに続けてこられたのだと思っています。私にとっては大変貴重な財産になりました。

この3年間で得たことは、大学、社会人になっても忘れず、また一生誇りにしていきたいと思っています。お世話になった先生、職員の方々、友達に感謝しています。3年間ありがとうございました。



母の声

3年9組 大塚洋平くんのお母さん 大塚 妙子さん

卒業を迎え、3年間の生活を思い出します。高校を決める際に息子と親の思いが一致せずに悩みました。「高輪台高校に進学したい」と希望する息子を不安な気持ちで見っていました。しかし私の心が動いていきました。進路相談、見学を通して、生徒さんや先生方の表情、挨拶、行動に人として大事なことを感じる事が

できたのです。さらに「この高校で生活させよう」と確信させたのは、「思想、体躯、智能、希望」の建学の精神でした。息子は3年間落ち着いてのびのび学校生活を送ることができました。また、野球部に所属し大好きな野球に集中し、先生、コーチの方々から3年間指導していただき遅くなり、仲間の大切さも知ることができました。先生をはじめ、学校に関わるの方々のおかげでここまでくることができました。3年間のご指導ありがとうございました。

2008年度学校運営方針

中等部・高校・大学10年間の一貫教育の充実

中等部TTによる授業の開発、シラバスのCD化に伴う
内容の大幅な見直し

2007年度開校した東海大学附属高輪台高等学校中等部の
教育活動を充実したものとするために、
全教職員で協力体制を作ります。

本校の教職員が中等部と高等学校の6年間の教育に対して共通の認識を持ち、
中・高の所属にかかわらず全職員一丸となって指導に当たります。

中等部TTによる授業の開発のために、
教務部、研究部、各教科会が連携を取りながら大規模な授業改革を推進します。

授業改革を推進します。

「本校の授業改革指針」に基づいて、生徒参加型・対話型授業へと転換します。
今年度全教室に設置されたアクティブボードを用いて
新しいタイプの授業スタイルを確立します。
シラバスを効率的に利用し最大限の効果が上げられるように努力します。
さらに、シラバスのCD化に伴う内容の大幅な見直しを行います。

大学の連携を密にして、大学の先生方による学校説明、学部・学科説明。
特別講座(第3学年)の充実を図り、高大の一貫教育の充実を図ります。

FEST・SHIP・カナダ中期留学

3年生を対象とした、第5回カナダ中期留学に8名が参加、そしてSHIP(ハワイ東海インターナショナルカレッジへの中期留学)には9名が、FEST長期留学には1名が参加しました。異文化の中で見たことや聞いたことを、それぞれがやる気と柔軟な心で自分なりに吸収し、成長した姿で帰国することでしょう。

✈️ 留学生体験記 FEST(ハワイ長期留学)



異国の地、新しい出会い、そして...

岩崎 誠仁
3年5組 中央区立佃中学校出身

このFESTというプログラムを通して、普通の高校生活ではできない貴重な体験を多くすることができました。ルームメイトがアメリカの人だったこともあり、普段から英語を使わなければならない環境を楽しみつつ、学んでいくことができました。

授業は1つのクラスに8人程度の生徒という少数で行われ、誰でも発言しやすい環境ができています。内容はTOEFLに関するものから世界史、リーディングなどがあります。日本のように曜日によって違う科目が行われるわけではなく、毎日同じ時間に同じ科目が行われます。

FESTのメンバーでハナウマベイやPCC(ポリネシアン・カルチュラル・センター)などに行く機会や現地の学校を訪れ

での交流会などもあり、楽しく過ごすことができます。ホームステイやハワイ島への旅行など魅力的なプログラムもたくさんありますが、授業は決して楽ではありません。

私は今、この環境の中で学んでいることを嬉しく、また、誇りに思います。残りの3か月も頑張って勉強し、帰ってきたときに、「最高だった」と思えるようにしたいと思っています。



マウナケアに登る最中に広がっていた牧場

✈️ 留学生体験記 SHIP(ハワイ中期留学)



Never give up and Challenge

田牧 陽一
3年1組 葛飾区立奥戸中学校出身

ハワイ中期留学(SHIP)はハワイ東海インターナショナルカレッジ(HTIC)において行われる約53日間の留学プログラムです。

1月5日に事前研修を成田で行い、6日にハワイに向けて出発しました。ハワイに到着してすぐに日本との違いを発見することができました。それは道行く人々が日本以上におおらかな雰囲気であったことです。

この留学では英語の学習だけでなく、ハワイやポリネシアの伝統文化も勉強します。現地の大学生を中心に運営されているポリネシアンカルチャーセンター見学やハワイアン・カルチャーの授業を通して、人々の伝統文化を大切に誇りと伝統を受け継ぐ精神を学びました。

この留学プログラムの最大の目的は英語力の向上です、私

たちは自らの語学力を向上させるべく毎日7時間の英語による授業と宿題、そして自主的な勉強に励んでいます。先生方は厳しくもやさしいフレンドリーな方ばかりでとても心強いです。

最後に、ハワイやポリネシア同様、日本にも素晴らしい伝統文化があることをこの留学を通じて改めて気づかされました。

私たちの留学はまだ終わっていません、さらなる飛躍を目指して努力を惜しまず挑戦しつづけます。



グループワークでディスカッション

留学生体験記 カナダ中期留学



やればできる

岩本 茜

3年2組 川崎市立西中原中学校出身

私たち8人は、1月2日に日本を発ち、カナダのバンクーバーにある語学学校に6週間、公立の高校に2週間、ホームステイをしながら通っています。初めは自分の英語力で会話が成り立つのか、迷子にならずに家まで帰れるかなど、たくさんの不安がありました。しかし、これまでは大きな問題もなく過ごしているので、自分もやればできるんだという自信ができました。

語学学校では、韓国、中国、サウジアラビア、メキシコ、ブラジルなどから勉強に来ている多くの人々と交流することができます。私が一番、驚いたことは「奇妙な三角関係」という言葉が、発音も意味もそっくりそのまま韓国の人に通じるということです。他にもサウジアラビアでは、お腹が痛いときに、スペシャルツリーを紅茶にして飲むなど、カナダにい

ながらにして他国の習慣も学べるので、とても楽しい日々を送っています。まだ、1か月しか経っていませんが、残り1か月を思う存分に満喫し、内容の濃い2か月間にして帰っていきます。



語学学校の修了式

引率教員体験記 SHIP(ハワイ中期留学)

Motivation and Participation (「モチベーションと授業参加」)

SHIP引率

金 恵潤

3年10組学級担任 英語科

SHIP(ハワイ中期留学)は、Senior High School Intercultural Program の略称です。全国の付属高校から参加者が集まり、約2か月間一緒に Hawaii Tokai International College 内の寮で生活し、英語を始めとする様々なことを学びます。毎日宿題がたくさん出され、参加者の多くは夜遅くまで勉強しています。日本の学校と違うところは、宿題をきちんとやらないと授業に全くついていけなくなることです。授業中は自分の意見を発言して自発的に授業に参加しなければ、外国の先生はやる気がない、と判断することも多いです。クラスは少人数(10人前後)であるので、ただ座っていればよいという授業スタイルではありません。今年、SHIPの引率をして、しみじみ感じたのは「授業とは教師と生徒の協力体制によって良いものになっていく」ということです。生徒のやる気がないと授業はどうしても一方的なものになります。生徒が授業や教師

に協力することによって、相乗効果が生まれるのです。では、生徒のやる気はどこからやってくるのか?それが最大の問題点です。勉強を大学に行くためのものと考えていると、この時代においてはその目標はすぐに達成してしまいます。そうではなく、勉強に対する謙虚さ、すなわち「人生において勉強していかないと自分のすべき事をしていかないと自分が納得できる環境を手に入れられない」、そう感じる事が大切であると感じた引率期間でした。



このバスでフィールドトリップに出発!!

中等部1学年だより

Tokyo Sightseeing Tour

高校の推薦入試が行われた1月22日、中等部1学年は「Tokyo Sightseeing Tour」に行ってきました。1班5～6人の生徒たちに対して、1～2人のネイティブスピーカーが付き、バスで浅草→上野動物園→東京タワーを回りました。英語の授業や、事前学習で高校3年生に教えてもらった英語表現を参考に、なんとかコミュニケーションをとりながら、楽しむことができたようです。日本文化を知らないネイティブスピーカーと、その良さを再確認する、という貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

貴重な体験バスツアー

小島 僚太

1年A組 横浜市立境木小学校出身

僕は英語のバスツアーに行って、ネイティブの先生の話す英語が思っていたよりもとても早かったので、驚きました。“Nice to meet you”が「ナイセトミト」に聞こえて、初めのうちは、ネイティブの先生が言っていることがよく聞き取れず、答える時も、正しい英語を話さなければいけないと思ってとても緊張しました。でも、だんだん慣れてくると、先生の話す英語もだんだん分かるようになってきて、自分が話す英語が多少あいまいでも先生には意味が通じることも分かりました。そして、緊張は後半には完全にとけて、先生と会話をする余裕も出てきました。

上野動物園では、先生と班のみんなでトラを探して走り回って、東京タワーのガラスの床では、ドキドキしながら上に乗りました。思っていた以上に楽しくてよかったです。また行けたら行きたいと思いました。

Tokyo Sightseeing Tour の感想

道塚 温和

1年B組 港区立白金小学校出身

ツアーの中で感じたことは日本の文化のよさです。僕はあまり日本文化が好きではありませんでした。しかし、今回のツアーで改めて日本文化の良さを知ることができました。外国にもいろいろな文化がありますが、日本の文化は結構いいと思います。と同時に日本以外の文化にもめぐり会いたいと思いました。外国の人たちと会い、いろいろな意見や、文化の違いを尊重していきたいです。

僕の担当のネイティブがどこから来た人かは聞きそびれてしまいましたが、きっと彼の国にも日本と同じくらい素晴らしい文化があると思います。だからこそTokyo Sightseeing Tourは外国人と交流し、考え方の違いや見方の違いを知るために設けられたものだと思います。

今回の経験から、僕は自分の意見を押しつせず、相手の意見も尊重した上で、自分の判断をすべきだと感じました。また、外国人とのかかわりを大切に生きて行こうと思いました。

高校3年生による事前学習



PCを使った説明がわかりやすい！ しっかりおぼえなくちゃ!!

Sightseeing Tour



作法はどうするんだっけ？

いろんなものが売ってるね



あいにくの雨でした

チェックポイントはどこだ!?



待ちに待ったお昼ごはん!

象は英語でなんて言うの？



トラを探してRun Run Run !!

あ、サル!!



あの建物はなんだ!?

高いな～

中 等 部 2 学 年 だ よ り

You can do it ! ～英検・漢検～

本校では中等部1年生から実用英語技能検定に挑戦しています。級によっては、まだ授業で習っていない範囲の問題もありますが、諦めることなく試験に臨んでいます。そのなかで、中等部2年生では石坂研人くん(2-A)と加藤田亮くん(2-B)が英検準2級1次試験に合格しました。おめでとう! また、希望者対象に漢字能力検定試験を年2回実施しており、多くの中等部生が挑戦しています。中等部に入学してから受験していなかった生徒もいましたが、国語の授業で過去問題を紹介したことをきっかけに「意外とできるかもしれない!」と自信をつけ、今回挑戦した生徒が何人もいました。

英検においても漢検においても、諦めずに挑戦し続けるひたむきな姿が見られます。今後も自分の力を信じて挑戦し続けていってほしいと思います。

今回は、英検準2級1次試験に合格した加藤田くんと、漢検準2級に合格した平野くんこれまでの頑張りや今後の目標を語ってもらいました。

英 検

目標に向かって

加藤田 亮

2年B組 横浜市立幸ヶ谷小学校出身

僕は、英検の存在を中学生になって初めて知りました。何事も挑戦が大事だと思い、戸惑いもありましたが、自分で3級を受けてみようと思いました。そして、勉強した結果、見事合格することができました。それを機に自分に自信がついたので次の級を受けました。準2級は去年残念な結果になってしまったので、次こそは合格するぞという気持ちを持って臨みました。その結果、努力の甲斐があり、合格点よりも高い点数を取ることができ、準2級1次試験に合格することができました。次は2次の面接試験が待っているので全力でがんばりたいと思います。

僕は中等部のうちに、2級に合格したいという目標があります。今回の準2級1次試験合格を機に、より一層努力し合格を勝ち取りたいです。

漢 検

漢字検定について

平野 耕一郎

2年B組 墨田区立二葉小学校出身

漢字検定を最初に受けたのは、小学校の頃でした。最初に受けた級は忘れましたが、合格したと思います。それから上の級へと受けていきました。そして級が上がれば上がるほど難しくなっていきましたが、自分はまだ練習しなくても受かると考えていました。しかし、そのおごりは打ち砕かれました。それは中等部に入学してからのことでした。受けた級は準2級でした。たいして練習もせずに試験を受けました。そしてその結果が返ってきました。不合格でした。合格点まで50点も低い点数でした。それから練習をして、もう一回挑戦することにしました。結果は合格。しかし、合格点すれすれの点数でした。だから今後は、きちんと練習してから試験に臨もうと思っています。

高校1学年だより

合否発表

高校1学年主任 米谷 昭人

2月は、中等部・高等学校共に入学試験の合否発表がありました。合格がわかりスキップしている受験生、「よっしゃー」と叫んでいる受験生、両親と受験生が共に喜びあっている姿、お父さんお母さんが発表を見て安堵の表情を浮かべている姿を見て感動して涙が出てしま

いました。受験生はこんなに本校に入りたがっているんだ、こんなにうれしいと思っているのかと思い、この受験生が入学してきたらもっと感動やうれしさを味わってもらおうと気持ちを引き締めて頑張ろうと心に誓いました。

君たちも自分の受けた入学試験での合否発表で感動やうれしさを味わい、本校に入学してきました。そのときの気持ちは覚えていますか？現在の状況はどうですか？もうすぐ進級です。さらなる飛躍と感動をめざしてお互い頑張りましょう。

いろいろな発想を持ちましょう！

9組学級担任 田中 正行

突然ですが、絶対に失敗しない方法を知っていますか？そんなものはないと考える人が多いのではないのでしょうか？ところが発想を変えて考えてみると、その方法は存在するのである。その方法とは「挑戦しないこと」である。何もしなければ失敗はないということだ(それでは人生面白くないですけどね!?)。ここでもう1つ。みなさんはいろいろな悩みを持っていると思います。ところがそんな悩みも大したことはないのです。みなさんは1年前

に悩んでいたことを思い出せますか？3年前の悩みだはどうですか？ほとんどの人は思い出せないと思います。また、みなさんの抱えている悩みは、自分の思い込みだったり、まだわからない未来のことだったりしませんか？悩みというのは、かなりあまいで根拠のないことが多いのです。悩んでも仕方ないことに悩んでいませんか？

これらのことはひすいこうたろうさんが書いた『3秒でハッピーになる名言セラピー』という本を読んで学びました。2月から高校1、2年生は朝読書がスタートしました。みなさんもいろいろな本を読み、いろいろな発想を身につけていってほしいと思います。



ライオン株式会社での集合写真



シャンプーに香りをつけよう



ライオン株式会社の研究員が来校

高校2学年だより

思い出に残った出来事は?

4月のクラス替え…「新しいクラスメイトとうまくやっていけるかなあ」という不安の日々から、あっという間に1年が経ってしまいました。建学祭や体育祭、スポーツ大会など様々な行事がありました。その中で、今年度一番印象に残った出来事を各クラスの級長に語っていただきました。

1組

LOVE&CHANCE ~偶然の確率~

私たち48人が出会ったということ…それは奇跡なのです。何気ない今日という日が、私たちの記念日。1日1日が私たちにとって大切な思い出なのです。一番の思い出と言われても、1つには絞れません。建学祭やスポーツ大会はもちろん、本当に些細な休み時間や授業でさえもが私たちの宝物。それら全てが奇跡(ミラクル)なのです。

2組

1番なんて決められません! 毎日が全力投球

私たち2年2組はこの1年、色々な事がありました。スポーツ大会に体育祭、建学祭。何だかんだ言ってやる時はやる2組です。中でも生徒会主催で行われた「エコキャップ運動」には特に力を入れて取り組み、回収個数は毎月学年1位でした。ただ楽しいだけでなく、協力できる団結力のあるクラスです。みんな、1年間ありがとう!来年度もよろしくね。

3組

2-3 日常自慢話☆



3組は日常のクラス自慢話を書こうと思います。まず3組は遅刻欠席がとても少ないです。健康管理抜群です。そして3組は提出物の集まりがとてもいいです。なぜかと言うと…忘れると、効果的と評判の「中村仁必殺デコピン」をくろうからです。皆さん気を付けましょう。2-3、49人は、今日も1日元気に頑張ります。

4組

建学祭!!

今年の建学祭は、クラス替えがありクラスのメンバーが変わってどうなるのかなあ~と不安な部分もあったけれど、みんなが色々なアイデアを出してくれてとても素晴らしい建学祭になりました。3年生になったら、模擬店に参加できるので、より一層団結した建学祭にしたいと考えています。



5組

第2回スポーツ大会(アリーナ)



クラス全員で力を合わせ、自分が出場していない競技も応援し合い、結果的に優勝することができました! クラスの団結力も高まりました。

でも、担任で物理の担当でもある長田先生が、自信满满に作戦を力説した綱引きで勝てなかったことが残念です。来年はもっと練習して綱引きでも勝ち、また優勝したいです!! (担任より:綱引き…ごめんなさい。もっと勉強します。)

6組

1位:世界史の授業、からまわる担任 2位:スポーツ大会 in 室内☆

世界史の授業は、我らが担任・今井貴志先生が担当です。先生は授業で生徒とコミュニケーションをとろうと授業中にギャグを言います。そこで空回ってしまう先生…49人の生徒はとても笑いに敵しいようです。スポーツ大会ではクラスが団結しました!特に綱引きでは皆が1つになり、感動を呼びました! と一っつても楽しいクラスです! 来年も楽しく、担任と仲良く過ごしていきたいです。

7組

☆建学祭☆

7組は「一代の休日」という様々なものをラケットとして用い卓球をするという出し物をしました。卓球にした理由は「準備が楽だ」という不純な動機からでしたが、いざ準備を始めると、看板や風船のアーチなど内装に工夫を凝らし、皆で一致団結して建学祭に参加することができました。来年も同じ仲間と建学祭に臨むので、模擬店の出店権を勝ち取り、さらに充実した建学祭にしたいと思っています。

8組

スポーツ大会(グラウンド)で優勝!!

最後の競技、リレーが始まりました。アンカーの僕は足が遅いので「自分のせいで負けてしまう」と思いました。しかし、1位になり、総合優勝することができました。



僕自身はもちろん頑張りましたが、クラスの団結があったからこそ優勝することができたのです。この場を借りて、クラスの皆に感謝の気持ちを伝えたいと思います。みんな、本当にありがとう。

9組

担任の上松先生☆電撃結婚♡

一昨年、12月に入籍した担任の上松先生が、昨年の夏、ハワイで結婚式を挙げました。昨年末に行ったクラスのクリスマスパーティーでは、先生に内緒でクラス全員が一言ずつお祝いの言葉を書いた色紙と花束を用意し、遅ればせながら結婚のお祝いをしました。「上松先生、末長くお幸せに!(2-9一同)」

高校3学年だより

毎回、『飛躍』の学年だよりにお付き合いいただきありがとうございました。今回が最後になります。学年団の先生方からメッセージを寄せてもらいました。このメッセージとともに、文字通り、飛躍してください。

デンマーク校から戻り3年、色々なことがありました。「時は流れない、時は積み重なる」今、この時を大切に生きたいと思います。

細田 功

「苦しい時こそ勇気を出そう。自分だけが不遇なのではない」(小学校のスクールバスに貼ってあった標語より。今でも時折折思ひ出します)

高橋 佑未子

「きっと誰かの支えになれる」思いやりの心は、思いやりの気持ちから生まれる。人と人が支えあうことを3年間で学びましたね。旅立ちにおめでとう。

渡部 晃

もし誰かが困っていたら、目を逸らさず手を差し伸べて下さい。そこから感謝が生まれ、いつか必ず自分に返ってきます。そんな勇気ある大人になって欲しいです。

山口 恵美子

今後、高輪台で出会った多くの友人たちに助けられる場面があるでしょう。その絆、いつまでも大切にしてください。卒業おめでとう。

山田 武範

卒業おめでとう!3年間の経験を糧に、これからも前進して下さい。ずっと応援しています。君たちが歩むこの先の道に、幸あれ!!今まで本当にありがとう!

石井 みなみ

僕らの過ごしている毎日の1つ1つに、無駄なものなど何も無いと思います。すべてのことをプラスに考え、楽しく過ごしましょう。

橋 健治

どんな状況にあっても、人間は「成長していける」という点で平等ではないでしょうか。だからこそ、みんなを愛し、愛される、そんな人であって下さい。

江川 晶子

「雨に降られたら 乾いてた街が 滲んできれいな光を放つ心さえ乾いてなければどんな景色も宝石に変わる」(Mr.Children『エソラ』)常に前向きな姿勢で。

数馬 大介

Be active, positive and open-minded! Knowledge is power! 人との出会いを大切に。いろいろな知識や情報を吸収していこう!そして相手の気持ちを考えられる人になってください。

金 恵潤

「何とかなる」は時には必要。でも、「何とかする」という気持ちを常に忘れず、自らの力でその時ベストと思える道を切り開こう。これからの活躍も期待しています。

田村 英典

早くしないと大人になってしまう。物事には若い時にやってこそ大きな意味を持つことがあります。まさに「若き日に〜」です。残された時を大切に。

阿部 光夫

陸上トラックでは1周遅れの優勝は絶対にありませんが、人生においては、感動のゴールはタイミングです。ウサギさんもカメさんも1日を大切に……。

宮島 孝一

人生は負けることが多い、失敗することが多い、くじけることが多い。そのくじけた時、困った時、泣きたくない時が竹節だ。己が強くなる。

若林 政和

「とにかく、とにかく最後まで諦めない。努力はきっと花開く」5年後、10年後どんなヒトになっているか楽しみます。

中村 春樹

校門で卒業生に出会うことが多い。その時在学時より成長し希望に満ちた姿に接すると教師冥利に尽きると共にこちらも力をもらって元気になる。今年の卒業生もぜひそんな姿を見せてください。

石井 達人

未来を語る皆さんの瞳は、本当にきれいに輝いています。新たな大きな世界へ勇気を持って、自分の力を信じ歩みだして行きましょう。

松橋 敬一

デザインパテントコンテスト入賞

平成20年度パテントコンテスト(文部科学省・特許庁・日本弁理士会他主催)において、戸張翔太君の「自立支援調理器具」が「意匠登録出願支援対象者」に選ばれました。これにより、戸張君の作品は弁理士さんのアドバイスをを受け特許庁へ意匠登録出願されました。



戸張 翔太

2年5組 目黒区立第十中学校出身

今回、2008年度学園オリンピック知的財産部門で優秀賞をいただいた作品が、意匠登録出願支援対象者に入選したことは、とても嬉しく思います。意匠(物品、商品のデザインや形状、外観)が認められたことで、知的財産とは創造や夢を形にするものであり、生活や心を豊かにするものであり、そしてとても身近なものであると感じることができました。これは、ひとえに2年連続で学園オリンピック知的財産部門に参加できたこと、さらに、ご指導くださった大学の先生方や他付属校の先生方、特許庁の方の講義やアドバイスのおかげだと思います。私たちの生活の中には、多くの特許や意匠があふれています。これからも、身近にある知的財産を意識して関心を持ち続けていきたいと思っています。

知的財産とは創造や夢を形にするものであり、生活や心を豊かにするものであり、そしてとても身近なものであると感じることができました。これは、ひとえに2年連続で学園オリンピック知的財産部門に参加できたこと、さらに、ご指導くださった大学の先生方や他付属校の先生方、特許庁の方の講義やアドバイスのおかげだと思います。私たちの生活の中には、多くの特許や意匠があふれています。これからも、身近にある知的財産を意識して関心を持ち続けていきたいと思っています。

考案した「自立支援調理器具」



この意匠のポイントは、片手のみでも多種類の食材を固定出来るように各種パーツが「まな板」に取り付けられている点です。これにより食材に応じて各パーツを交換する負担がなく、又、紛失することもなくなります。

さらに裏面に吸着盤を付けることにより「まな板」自体を簡単に固定できるよう作成しました。そのため、片手でも食材をしっかり固定して調理することができます。使用後は、コンパクトになり片づけしやすいようになっています。

2008年度「松前重義賞」「松前重義記念基金奨励賞・助成」受賞団体・受賞者決まる

文化活動やスポーツ、学術研究の各分野で優れた成績や業績を修め、社会的にも高い評価を得た学園の学生、生徒、児童、園児、教職員や卒業生らを顕彰する「松前重義賞」の2008年度受賞者が決まり、授与・伝達式が1月21日に東海大学校友会館で行われました。あわせて、学校法人東海大学松前重義記念基金の各奨励賞の授与式も行われました。本校関係者の受賞は以下の通りです。

松前重義賞・文化部門 最優秀団体賞

付属高輪台高校吹奏楽部

第11回 ミッド・ヨーロッパ
国際青少年吹奏楽コンクール 1位

松前重義記念基金 特別教育活動団体奨励賞

付属高輪台高校吹奏楽部

第11回 ミッド・ヨーロッパ
国際青少年吹奏楽コンクールA、レベルC 金賞

松前重義記念基金 特別教育活動指導者奨励賞

畠田貴生 付属高輪台高校教諭

付属高輪台高校吹奏楽部顧問・指揮者

松前重義賞・文化部門 奨励団体賞

付属高輪台高校ディベート研究同好会

ディベート甲子園全国大会 第3位

松前重義賞・文化部門 教職員の部 最優秀賞

梶川克之 付属高輪台高校教諭

ディベート甲子園全国大会 最優秀指導者賞

本校教諭である畠田貴生先生に受賞の喜びを語っていただきました。

畠田 貴生 吹奏楽部顧問

このたび、栄えある松前重義記念基金特別教育活動指導者奨励賞を受賞させていただくことができました。今回は、音楽の本場ヨーロッパでのコンクールでの成果が認められての受賞で、感激もひとしおです。これも、いつもご支援いただいている、学校長をはじめとする教職員の皆様、音楽指導を頂いている講師の皆様、地域の方々、保護者の皆様方のお陰と、感謝申し上げます。今後も、生徒たちの豊かな音楽活動のために、日々努力を続けていく所存です。益々のご指導・ご鞭撻を頂きますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。

お知らせ

建学祭記念品

後援会から寄贈していただいた「バザー」、「けやきや食堂」の収益金で以下の品物を購入し、生徒のために活用させていただきます。ありがとうございました。

- ①ポスター発表用パネル 10台
- ②キーボード 7台
- ③ウォータークーラー 1台

希望を星につなげ! 全国大会出場

ダンス部 USA Nationals in Japan 2009 3月28日・29日 幕張メッセ
 HipHop部門 「HOP BOOTY」

レスリング 全国高等学校選抜レスリング大会 3月27日～29日 新潟市体育館
 2年7組 澤 祐基

行事予定

March 3月

April 4月

- 3日(火) 後期期末試験(高1、高2) (~6日まで)
- 4日(水) 後期期末試験(中等部) (~6日まで)
- 6日(金) 後期期末試験最終日
高校3年生を送る会、高輪会入会式(高3)
- 7日(土) 第60回卒業証書授与式(10:00)
卒業祝賀会(14:30)
- 8日(日) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高2 湘南校舎)
- 9日(月) 採点日(高校生生徒休業日)
- 10日(火) 答案返却日、教科書販売(新高3)
- 11日(水) 生徒休業日
- 12日(木) 成績不振者指導
- 13日(金) 修了式、離任式
教科書販売(新高2)
- 18日(水) 基礎力判定テスト結果補習(高1、高2 ~25日まで)
希望者講習(中等部 ~25日まで)
- 21日(土) 後援会委員総会
- 29日(日) FEST帰国

- 1日(水) 新入生登校(中1、高1 13:00)
- 2日(木) 中等部 第3回入学式(10:00)、高校 第66回入学式(10:00)
- 3日(金) 前期始業式、対面式、就任式
- 4日(土) 中1:オリエンテーション合宿(三保研修館 ~6日まで)
- 6日(月) 中2:臨時休業 中3、高1:健康診断、写真撮影 高2、高3:臨時休業
- 7日(火) 中1:振替休日 中2:健康診断、写真撮影 中3:臨時休業
高1:オリエンテーション 高2:健康診断、写真撮影 高3:臨時休業
- 8日(水) 中1:校内オリエンテーション 中2、中3:臨時休業
高1:オリエンテーション 高2:臨時休業 高3:健康診断、写真撮影
- 9日(木) 授業開始
- 10日(金) 外部実力試験(中等部)、学園基礎学力定着度試験(高校)
- 11日(土) 保護者会(中1、高1)
- 15日(水) 生徒個人面談開始(中高 ~5月8日まで)、専門医によるカウンセリング
体育移動授業開始(中高 ~5月15日まで)
- 16日(木) 学年集会(中3)、進路説明会(高3、1限)、校医相談日
- 17日(金) 新入生仮入部期間終了(高校)
- 18日(土) 保護者会(中2、中3、高2、高3)
- 23日(木) 学年集会(中2、高2)
- 24日(金) 新入生仮入部期間終了(中等部)
- 29日(水) 昭和の日
- 30日(木) 憲法記念講演(高1、2、3 1-2限)



朝読書

編集後記

若者の活字離れが叫ばれて久しい。たしかに近頃のCG(コンピュータグラフィックス)の技術の進歩には目を見張るものがある。かつては特撮でしか表現できなかった映像が圧倒的な迫力でリアルに映し出される。しかし、映像を通して受ける感動の仕方と活字を通して受けるそれとは本質的に異なる。なぜなら、活字を通して感動するためには「イマジネーション」の働きが必要だからだ。中等部に続き、先月から高校でも「朝読書」が始まった。1人でも多くの生徒が活字による感動体験を深めるきっかけになればと願う。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>